

2013 シーズン第2回 応援向上委員会 議事録

日時：2013年2月10日 18時～21時15分

場所：ひと・まち交流館 京都 第3会議室

●本会議及び議事録について

- 本委員会はサポーター連合会(以下、サポ連)の了解のもと開催されている。議論した内容はサポ連の総会にて再度了解を得る必要があり、サポ連としての最終決定事項ではない事を理解いただく。
- 発言内容はしっかり議事録に残して欲しい→議事録は全発言の掲載ではないが、議論に対する発言は基本全て掲載する。抜けている内容があれば指摘していただき修正する。

●応援場所について再考

○前回の応援向上委員会で「応援の中心部をバックスタンド寄り移動してみる」と決めたことに対する反応。

- 今までサポーターズシート(以下、サポシ)のバックスタンド寄りで観戦していた方から「勝手に移動することを決めるな」「試行錯誤されたらその都度こちらも動かないといけないのは迷惑」とメールで意見。
- 昨季までのそれぞれの応援位置と変わらずただバックスタンド寄りに移動するだけで意味があるのか？(1つのブロックに集まって応援する意義が忘れられているのではないか？)
- 決定事項と書いたことに対して、応援の中心部以外の人間も強制的に従わなければいけないのか、という反応がある(周知の方法を考える)。
- オフシーズンの間に一部の人だけで決めたことをシーズンスタート時点から開始することに抵抗がある人がいる(西京極で一定期間告知した上で行動しないとイケない、という意見)。

○再度どの場所で応援するのがよいか、それに関連する議論

【棲み分けについて】

- 現在、サポーターズシートは色々な応援スタイルの方が混在している状況であり、応援スタイルの違いによる棲み分けを目指していかないとイケない。
- 先に今の場所でしっかりまとまりを作ってから移動してもよい。逆にインパクトという意味でもシーズン開始から行ってもよい。
- どの場所から声を出せば届きやすいか、という技術的な問題を検証していかないとイケない。
- 委員会に出席していない、委員会の存在を知らない方に対して現地や事前にもどのようにお知らせするか。

- バックスタンドから聞こえる声援はすごいと聞いている(仙台を例に出して)。TV の映り具合も良くなり TV 観戦者への訴求にも繋がる。TV 映りだけを考えたなら今の場所よりバックスタンド側のほうが映ると思われる。
- ピッチにいる選手に対して、どの位置から声援を送ると一番声が届くのか？サポシの BCD 付近に移動して本当に声が届くのか？
- 前回の移動に関する議論では、声が届きやすいかどうかより、棲み分けに重点をおいて議論していたと思っていた。今回の移動を行ってみても棲み分けが当初からはうまくいかないのではないかと考える。
- 南スタンドで応援していた時を例として、以前上段で応援していた中心部が下段に移動した際に上段に残った人達で別のサポーターチームができた例もあるように、中心部が移動しても残る人は残る。逆にそれが人が増えることに繋がるのではないかと。
- シーズン途中で移動するよりは、シーズン当初から移動するほうがよい。何試合か試してみてダメだったら戻ってもよいと思う。
- コールリーダーの SB 自由席への声掛けを含めた SB 自由席への応援の拡がりを考えると、やはり移動するほうがよいのではないかと。
- ピッチに声を届けることを第一に考えるが、声が反響したりすることにより周りの席種へ応援が波及していくのではないかと、ということも考えることも必要だと思う。

【移動と関連して旗のこと】

- 本委員会では、サポシにおける旗振りはどこで振っても OK という認識(クラブにも個別に確認済)。その中であえて振りやすいエリアというのを別途設けると旗を振るエリアが逆に狭まってしまうのではないかと？
- ネットを見ていると、クラブのサイトには旗に関する記述が無いからサポーターが勝手に言うな、という意見もある(立って応援することに関する記述はある)。
- サポーターチームによっては試合中も旗を振っているので、そのチームの対応を参考にしたり、意見を聞いたりしてみてもいいのではないかと。

【再度問題点の確認】

- 前回の会議ではこの議題は特に問題なく決まったという認識ではないのか？もう一度議論しているのは何故？もう議論すべき問題点を整理してみたほうがよいのでは？
- 昨季までサポシ BCD 付近で観戦されていた方に対する周知。各サポーターチームがどこの場所に移動するのかによっては、ただ場所が変わっただけになって、もっと先を見据えた移動(より中心部に集まって応援する)に繋がらないのではないかと、という二点が問題として考えられる。
- 前者はシーズンが始まればある程度は何も言われなくてもいいのではないかと？先着順だしその一帯をある程度陣取ってある状態で、敢えてそこにわざわざ「今まで応援していた場所だから」という理由で来る人はいないと思う。しかしそれはシーズンが始まってみないと分からない。

- いや、文句を言う人は絶対出てくると思う。同じ場所に残る人は残ると思う。ゴール裏を一つにまとめていきたい、という意義からすると反対の人がいる状態で移動するのが果たして正解なのか？
- 元々、BCD 付近でいつも応援していた人はそこでの人との繋がりができている。しかし中心部が移動してくればその人達の繋がりがバラバラになるのかもしれない→意外とそうではなく、相談して移動するのではないかな？
- 移動することにクレームが来るかもしれないが、座席は先着順だしお知らせをしていきながらなのであれば、理解は得られると思う。知らない人を少しでも減らすために事前の対策を考えるべき。
- 現時点ではコールリーダーの場所も決まっていないので、周りも場所が決まらない。この場所によっては移動するしない、自体にも関わるかもしれないので一度コールリーダーの立ち位置を確認したほうがよいと思う。
- 仮に移動するとした場合、コールリーダーは C ブロックの真ん中付近(昨季よりももう少し上程度)を考えている。移動しない場合は昨季と同じブロックで少し上に上がる。
- 都 UNISON(以下、ユニゾン)は D ブロックのバックスタンド寄り(ブロックの半分くらい)の最前列付近希望。LOUDNESS KYOTO(以下、ラウド)と SANGARIAN'S(以下、サンガリアンズ)も D ブロック希望だが、ユニゾンが D ブロック希望なら B ブロックでも構わない(チーム内で一度相談してみる)。西京極 JODANS(以下、ジョーダンズ)はまだ未定。KYOTO HOLIC(以下、ホリック)は昨季までと同じ D ブロック上段。
- CLUB 西京極(以下、クラ西)はどこに？ ※当日の会議では議事進行役の個人的な判断で回答をしていましたが、現在も活動をされていらっしゃるようです。申し訳ありませんでした。改めて確認します。
- その他会議に参加していないチームもいるので、そのようなチームに対しての周知はどうするのか？
- 移動するにしても移動先のブロックやその周辺が全て埋まるわけではない。昨季までその場所で応援していた方がそのままの場合も考えられる。周知や案内をどうすればよいか？またクレームが来る場合も考えられるので、その対応も考えないといけない。

【棲み分けの趣旨】

- 熱い応援をする人達を固めるのが元々の趣旨だと思っている。現状とほぼ同じ立ち位置のまま移動するのであれば、あまり変わらないのではないかな？そのまま移動しただけでは元々BCD 付近にいた方々から質問された時に明確な答えを返せないのではないかな。
- それは移動の話の最初に戻るが、昨季の最後のほうは特に応援が盛り上がらなかった。昨季までと違う何らかのアクションを起こしてみよう、ということも含まれているのではないかな。
- 南スタンドから北スタンド(現サポシ)に移動する際も今回と同様の議論は出た。その時今後を見据えてサポシ全体で応援してもらえるための現在のポジションである。その今後を見据えた意図を覆せるほどの理由が無いのではないかな。
- 中心部より両側に応援を拡げるのがぼんやりし過ぎている。立って応援してる人、座って応援して

いる人の区別が現状だとすごく曖昧に思える。それよりは、端っこに一番熱い人達を集めてそこから順に棲み分けをしていけば分かりやすいのではないかな。

- 現時点で移動の議論をしてもサポーターチームが居ないと予想される A,B ブロック上段とかに熱い人が来るとは限らないから、端っこから順に、という案も一概に言えないのではないかな。
- そこは一度試してみないと、という趣旨だと思っている。
- しかし現時点でサポシ全体が盛り上がっているとは思えない。当初今後を見据えて、と考えていたことが2年かけても成功しているようには見えない(=失敗したと判断してもいいのではないかな)。それなら一度移動すべきではないかと思う。
- ホリックは立っているサポーターと座っているサポーターの境界で応援しているが、その場所が移動していないということはやはりあまり立って応援している人が増えていないように感じる。
- ラウドからみて、2年前はサポシ入口の奥側という場所ということもあり人がまばらだった。サポシ入口が変わって(ラウドの場所が応援の中心部より入口に近くなって)周りの人が増えた。最近隣のブロックも応援してくれている(=応援が広がっていると感じる)。常連になってくれた人がラウドのブロックの後ろのほうに入ってきてくれている。そういう常連さんなら移動しても来てくれるんじゃないかな？
- 全てはアナウンスやインフォメーションの仕方(言い方)によって良くも悪くもなるのではないかな。楽しければ近くに人は集まると思う。
- ユニゾンとしては、応援が盛り上がり広がることも考えているので、Dブロックを考えている。

【懸念事項】

- ウルトラスの懸念。クラブスタッフから聞いた話として、試合後の選手挨拶はサポシの真ん中にくる。選手の挨拶が応援の中心部からズレることにより、選手目当ての人が中心部に来ないのではないかな？それにより中心部付近の人が減ってしまい、移動する意味も無くなってしまわないかな？選手とのコミュニケーションもできないかもしれない。サポシを対象としたイベント(パフォーマンスやキッズチア等)が目で行われなないことに対する違和感が発生するように思える。
- 必ずしも選手は応援の中心部の前で挨拶する必要は全くない。仮に移動しても選手の挨拶がサポシの真ん中で行われることにより、選手の挨拶目当ての人はEFGブロック付近に残ることにより棲み分けができるのではないかな。そういうこと(選手の挨拶は応援の中心部の前でしてもらいたい)を求めて応援しているのではない。それは応援の中心部のエゴではないかな？
- 選手を見たい客層と応援したいブロックを棲み分ける意味でも移動することに賛成。試合後選手挨拶目当ての方がサポシの一番前に沢山下りてくる。応援している側からすると大変邪魔。
- 選手はバックスタンド側から来るから応援の中心部は通るからそれでいいのでは？
- 選手自身がどこで挨拶したいか、も考えなくてはいけないのではないかな。応援の中心部に挨拶したいのか、サポシ全体に挨拶したいのか。それは選手側に委ねてこちらの移動の議論と重ねなくてもいいと思う。
- 移動した場所での密度の問題ではないかな。今まで各サポーターチームの周りで応援していた方々が選手の挨拶位置がズレることによって、実は選手目当ての比重が大きくて一緒に移動してくれない

かも、という懸念。

- そういう方は挨拶の時だけ移動するのではないか？
- 選手目当ての人に限って試合中はそんなに応援しているように思えない。勝つていようが負けていようが試合残り5分くらいになるとサポシ最前列に集まってくる。それが大変困る。
- 選手を見たいのではなく、試合後にコールリーダーが代表して監督や選手に伝えないといけないことがあると思うので、距離的な問題があるとそれがちゃんと伝わるかを懸念している。決してミーハーとかではない。
- でも現状では何か伝えてもらっているように思えない。
- 過去にサポーターから伝えることにより監督や選手から反応があったのであればその発言は理解できるが（昨年を例として、サポーターから何か発信して監督や選手が応えたことがあったのか？）。サポーターからの強要としてはあったと思うが（例として無理矢理ハンドマイクを持たせて話をさせる）、それ以上のことは無かったと思っている。
- 本当にそういうことをしたければ、(中には怒っていたり無視したりする選手もいるだろうが)選手を無理矢理止めればいいのか？
- 事前に選手達とコミュニケーションを取ったり、試合後に考えていることを先にスタッフ等にうまく伝えることにより、この問題は対応できるのではないかと、思っている。
- ラウドへの懸念。仮に移動することになった場合、キッズチアとのコミュニケーションは大丈夫なのか？
- それはまだ分からない。それよりもチームバナーが長いので掲出に関して大丈夫なのかという懸念がある。

【バナー掲出】

- バナー掲出は基本先着順。しかし現状としては各チームバナーの掲出場所はそれぞれ暗黙の了解となっていて特に問題は起きていないが、場所の移動により掲出場所が限られるので問題が起こるのではないかと？ラウドのバナーは約15m。ユニゾンは約12m。1ブロックは約6m。ウルTRASは6m(自分達のバナーが他チームに被らないように考えている)。ラウドがBブロックに行った場合、バックスタンド側に余るのでそれを壁沿いにまわすのはどうか？→非常口扱いとなっている蛇腹式のシャッターがあり、それを覆うことになるので不可。
- やはり移動することでバナー掲出場所の競合が起こる可能性がある。バナー掲出チーム同士での話し合いが基本だと思うが、そこをどうするか？
- 自分のチームバナーの後ろで応援できないのは嫌。違うチームのバナーの後ろで応援するのもおかしいと思う。
- 一つにまとまらないといけない時に、このようなバナーの話をしたくないという思い。ホームの試合の前に仲間同士で場所の取り合いとかをしたくはない。それぞれに応援方法やクラブに対する思いの違いはあれど、その試合に勝ってもらいたい気持ちは一緒だと思う。バナーがあることで思い

が一つにまとまらない、壁ができてしまうは嫌なので、例えば3ブロックで集まると決めたらその大きさを新しいバナーを作るのはどうか？

- 実質開幕まで時間が無い。その新しいバナーを作ってから移動してはどうか、という意見？
- そうではなく、バナー掲出の可否で移動が出来る、出来ないという話自体がナンセンス。一つになって応援の意味でも3ブロック分くらいの新しいバナーを作りたい、という思い。
- 現状では前回提案のあった大きいバナーを製作する時間はない。各サポーターチーム間同士でバナー掲出の場所で争っていては移動する意味にもつながらない。それなら今のままでもいいのではないかな？
- 問題としてはBブロックに来るチームだけが問題となるのか？→一応その理解。ラウドが仮にBブロックに移動した場合、バナーを半分に分けることも可能。これは一度チームに話を持ち帰って検討する。

○場所移動に関するまとめ

- 移動に伴い各サポーターチームのそれぞれの協力が必要。意見が異なれば一つにまとまって熱く応援する方向とも反する。ラウドのチーム方針を決めてもらうことも含めて次回(17日)に改めて議論する。

●ハーフタイムの応援について

○現状

- ウルトラスがハーフタイムにベンチメンバーに対して応援している。しかし、周りが理解できていない。

○目的、意図

- 元々ベンチメンバーがハーフタイムにウォーミングアップでピッチに登場するので、登場した選手の応援歌を歌おうという趣旨で始めたのが続いている。今季からはもう少し周りへお知らせして大々的にやっていきたい。もちろんハーフタイムなのであまり強制はできないが協力していただける方は一緒に応援していただきたい。現時点ではまだお知らせ等はしていない。
- ハーフタイムにはクラブが主催する抽選とかもあるので、自分達だけでやる分には問題なかったと認識しているが、大々的にすると、ハーフタイムのイベントとも被ることも考慮しないといけないので、当日の注目選手だけ歌う等、今までと異なるやり方を考えないといけないのかもしれない。昨季までは基本ウルトラス単独の行動であったが今季から周りをお願いした上で皆で行うものとして考えていきたい。
- 周りの人の意見としては、やるのかやらないのかハッキリして欲しい。選手に対して声を届けるなら全体でやるべきでは？何故あそこだけで応援しているのか、という見られ方になっている。もっと目的や意図を説明して行えばよかったのではないかな？
- 昨季までは何をやるにしてもウルトラスでやってきたが、今季からは皆で集まって協力していこう、ということなので色々な方と協力して行っていきたい。

○意図を踏まえた上での議論

- 昨季までのやり方だと止めたほうがよい。周りからの見られ方も含めて、それが果たして選手のためになるのか？ただ協力してもらおうといってもハーフタイムの時間は貴重。ハーフタイムの最初の3分だけとか決めて行ってみればいいのか？
- 決めてやる必要があるのかどうか？アドリブでやるならその場でひと声かけるだけでいいと思う。全員分だらっと歌うのが良くないのではないかな？
- 例として怪我明けや初めてベンチ入りした選手の歌を歌うと、歌う意図やサポーターの思いが分かりやすい（伝わりやすい）。
- 毎回やるとスペシャル感がないように思える。イベントの邪魔にならないように考えないといけない。
- せっかく選手全員の応援歌があるのだから、歌うほうが良いと思う。
- 方法としては、全員の歌を歌う、特定の選手を決めて歌う、毎回ではなく節目節目の試合で全員分 or 特定の人を歌う、コールだけでよい、等いくつか考えられるがどれがいいのか？
- 45分歌い踊りきる者としては15分の休憩は大事。後半のパワーが落ちるので個人的には無理。仮に喫煙場所が遠くなるとそれを優先するので歌えない。
- ハーフタイムなのでトイレや喫煙や食事等をする方もいるので強制はできない。
- だいたい選手は歌に応じてくれている。
- 別に全員にお願いするつもりではない。協力できる人だけ協力してもらえたらいい、という趣旨。

○まとめ

- 今季もハーフタイムの応援は行う。その時に周りにもお願いする意向である。ウルTRASが主導で行う。
- 何度か行ってみた上で何がよかったか悪かったかの検証はする予定。
- 周知等で手伝えることは本委員会も手伝う。個人単位でも、実際の応援が手伝えなくても周知等は可能だと思うので、出来ることでお手伝いいただくようお願いする。

●旗に関する議論

○旗の種類と問題点

- 柄の長さが5mのポールを使用する大旗。オフィシャルのLサイズの旗と小旗(これらは硬いプラスチック製の棒)。それと塩化ビニール製の「しなる」旗(以下、塩ビ旗)。
- その塩ビ旗は回して振れるので、試合中に回して振られると後ろの人に当たって最悪怪我(目の失明等)の可能性はある。
- 旗をどこで振ってもよい、という認識をサポ連が周知することで、そのような怪我が起きた際に責任が持てるのか、という問題が考えられる。おおっぴらに旗振りをOKと言うのではなく、個別に責任をもって振ってもらうようお願いするほうがいいのか？

○塩ビ棒に対する議論

- 振る方が後ろの方に何も言わずに振るのは良くない。
- 本委員会の議事録が全てではない。クラブのサイトに旗振りに関する一文を掲載したほうがいいのか？
- そこまで本委員会がマネイジメントする内容ではないと思う。振る人の個人の責任で行えばよい。20年近くJリーグが存在する中で、この種の怪我はまず聞いたことがないくらい少ないと思う。振っている人は気を付けているはず。
- 言い方の問題ではないか。サポ連が OK と周知していれば責任の所在としてサポ連にも可能性があるが、旗を振る方が居らっしゃる(居やすい)環境である旨の周知に留めておくべきではないか。
- 最終的な責任は振っている個人である。
- 既に塩ビ旗を振っている各サポーターチームは周りに理解を得た上で行っている、との認識。90分ずっと振るわけではないので、振る歌を決めたりして後ろの方にも配慮して振っている。

【塩ビ棒に関するまとめ】

- 旗を振ることは原則個人の責任である。事故防止のためにも事前に各自で後ろの方へのアナウンスもしていただくことが必須だが(事故が起これば個人で対応)、中にはそれを言いにくい方もいるかもしれないので、サポ連からも一度アナウンスをして、振る方が各自周りに声掛けをしてから振ってもらうように促していくように努めてみる。

○小旗について

- 現在かなりの数が無くなっている状態。寄付された方は元々ホームで振って欲しい、という思いがあるはず。無くなった分は返却かサポーターが寄付する等の対応が必要ではないか。
- まず寄付された経緯等が分からないので、経緯含めて寄付された方のお気持ち等を確認してみる。これは対応していただいた方に別途確認の上、報告する。
- 現状としてはホームで配布するのは数が少なすぎるので、アウェイでの配布を考えている。

●リードの位置の確認

- ユニゾンはDブロックの場合、その一番前にポールを建ててリードが立つ。ラウドはBブロックだとするとリードを立てる必要が無いようにも思うので、一度再考する。ジョーダンズはウルTRASの立ち位置を見てから考える。

●歌やコールについて

○現状と問題点

- 現在の京都の応援は一つの歌を歌いきるスタイルになっている。歌いきることによって切るタイミングが分かりやすいメリットもあるが、試合展開に合っていないことも多々ある。どちらがいいのか？

○問題点に関する議論

- リードをしているウルTRASとしては今までの応援で歌っている歌が少し長いという認識はあったのか？
- その認識はあるが今まで途中で止める応援方法ではなかったこと、ドラムがウルTRAS以外にもいることもあって途中では切らなかった。ここで議論して決めていきたい。ウルTRASは途中で切りたい。
- 途中で切る場面とはどんな場面、状況？ゴール入れた、入れられた時とか？シチュエーションにもよると思うが。
- 昨季の分かりやすい例だと、京都の守備時に水谷の歌を歌っている状況から攻撃に切り替わって相手ゴール前まで攻めているのみまだ水谷の歌を歌っていた(=攻守の切り替え時)。その他はタッチやエンドラインにボールが出た時。選手が倒れた時(ゲームが流れている間はどうか？)
- 点を取りたい時にバモを歌うことが多いが、歌を長回しすることによって明らかに声量が落ちてくる。一度途中で止めてコールリーダーが煽ってから、もう一度同じ歌を歌うことも良いと思う(止める時は歌の途中でも OK)。
- 試合の展開に関わらず 1 つの歌を長く歌い続けることによって声量が落ちていると感じられる。これはコールリーダーが判断して途中で切るなり短く歌うなりを考えて欲しい。そのためにはコールリーダーだけでなくサポーター全体も試合の流れを読んでいくことが大事ではないか。

○まとめ

- 今季は試合の流れに応じて歌(コールも含む)の途中でも止めていく。止め方等はウルTRASが考えていくが、その技術的な部分も含めて、各自どのように感じたかを検証してもらい意見を募っていく。

●コールリーダーについて

- コールリーダーは総意でどこの誰になるか決めているのか？事前に全体で認識しているのか？
- 以前は一人の方がずっとやってこられたので特にそのような認識はなかった。昨季は開幕戦の直前に決まったということもありお知らせができていなかった。
- コールリーダーが所属するチームのブログ等でお知らせをしてみてもどうか？
- 開幕までには何らかの形でお知らせをする予定。

●リズム隊(ドラムやスネア)について

- リズム隊を一ヶ所にまとめる話はどうなっていますか？うやむやで終わっている、という認識。
- ユニゾンは自分達の立つブロックの前のリードポール横で叩く、というスタイルは変えずにいく。正しいリズムという発言があったが、どのリズムが正しいのかも分からない。動きのあるスポーツなのでライブ感を大切にしたい。もちろん闇雲に叩くわけではない(合わせないことではない)。何が正解とかは無いと思う。Away では 2 つで叩く場合もある。
- ウルTRASはタムドラム 2 つ。スネア 1 つ(関東では 2 つの場合もあり)。

- ラウドは叩く予定の方が常時来場できない可能性もあり、叩くかどうか未定。叩く必要性も含めてまだ検討中。仮に出すとしても1つかな、と。それなら出すこと自体含め再度検討したい。ドラムだけでも近くに来て欲しいということであれば寄ることは可能。1人が叩くと1人分の声量が減ることになる。それも問題だと考えているので、そこも含めての検討。
- ウルトラスの考えとしては、リズム隊は集まってほしい。今後、それぞれに相談させてもらうことになると思うので、その時に改めて対応して欲しい。

●場所移動に関連する再質問

- 途中から来たのでよく分かってないが、BCDで集まるとした場合、先ほどCにウルトラと聞いたがBにウルトラ、Cにユニゾン、Dにラウドでもいいのではないかと、思った。
- もう一度経緯の説明だが、最初場所の話をした時にDにユニゾンとラウドが被って、それを踏まえてラウドがBに移動しても構わない、という話になった。17日に再度決めるが、現在の希望として聞いている。
- 仮にウルトラがBに行くことはあるのか？Sバックへも応援が波及しやすいのではないと思う。
- その場合はユニゾンとラウドのチームバナーが被る問題が発生し、ユニゾンが更に離れた位置に移動する可能性もあり、そうすると本来の趣旨(一つにまとまる)から外れるのではないかと。
- 仮にユニゾンとラウドのチームバナーが被る場合は、当事者同士で話をするから大丈夫。
- ウルトラスはBに行くことは考えていない。仮の話もない。ユニゾンと1ブロック空けてやるのはやりたくない。太鼓がズレることを懸念している。
- ウルトラスがBでユニゾンC、ラウドとサンガリアンズがDという案はどうか？ウルトラスが端っこすぎるからダメ？Sバックへの応援の波及も含めて考えてみてどう？
- ウルトラスとしては歌い出しのことも考えれば応援の中心部の片側に寄りたくない(声が届きにくくなる懸念)。
- ユニゾンもラウドもコールリードを立てるから、その人がいけば届くのではないかと。
- ラウドとしては仮にBとなった場合、リードを立てる意味がない(自分達よりも外側の人達への盛り上げを考えてのリードなので)。自分達だけのブロックを見られるのであればリードは立てないかもしれない。
- しかしどちらにしてもウルトラスがBに立つことは考えていないので、議論とはならない。
- ウルトラスがCとしてもそのブロックが埋まるわけではないから、両サイドからユニゾンとラウドが詰めてCに入るとCが埋まって迫力のある応援ができると思うが、どうなのか？
- 先ほどチームバナーに関連する話が出てきて、違うチームバナーの上での応援はできないから、現時点の議論ではそれはない、という理解をしている。
- 今は移動に関する話が進まない状況だと思うので、こういう時は思い切った案を考えないといけないのではないかと(例：ラウドのバナーを半分に切ったりして移動の妨げをなくす)
- でも各自の拘りがあると思うからそれも難しいのではないかと。チームバナーの件はこれからまだ議

論を重ねないといけない。

- 持ち返って再度議論するのではなく、もう会議で決まった形として持ち返ってある程度は押し切らないと話が進まないと思う。
- 対立する考えが存在する場合、手法の話になるが、反対意見があってもどちらかの意見のある程度強引に押し通すやり方もあれば、双方が妥協するやり方、時間はかかるがお互いの主張を聞いた上で双方が納得する答えを探していくやり方、など色々ある。これは議論の進め方に対する議事進行係の考えであるが、みんなの根底にはサンガを応援して勝ってもらいたいという同じ気持ちがあるのに、応援に対する考え方の違いなどが足かせとなって、周りの人達を本当の意味で信頼できていない状態で一緒に応援しても、本当の意味で一つになっていないのではないのか。それを踏まえて時間がかかるのは覚悟の上で何度も議論を重ねてみんなの理解を得られると思っている。時には強引さも必要だが、いきなり強引な手法をとらずまずはお互いが本音で議論を重ねていくということを理解してほしい。

●アウェイの応援場所について

- アウェイでの応援場所について。入場前に応援場所やバナーの掲出位置について打ち合わせをしたい(殺気立って入場しているように感じられるから)。例えば開門 30 分前とか時間を決めてミーティングをしたい。
- アウェイの場合、スタジアムや来場者数等、その時々によって応援位置も変わるので、事前の打ち合わせはしたほうがよい。
- 事前搬入の周知等はスタジアムによりまちまち。ホームページで分かるチームもあれば現地でこちらから確認しないといけないチームもある。事前搬入自体もただ荷物をスタジアムに入れていだけのところが殆どだと思う。
- バナーの事前掲出が OKなのは岡山、フクアリ、湘南？、札幌ドーム？。北九州は事前に警備員に確認したら事前掲出は不可だったのに待機列で並んでいたら急に事前掲出 OK となったので驚いた。誰かが事前に確認したほうがいいのか。
- とりあえず事前掲出が無いスタジアムは開門 30 分前(事前「搬入」のみ)のとも同様)。事前掲出可能など
- ろは、事前掲出時間の 20 分前くらいを目処にする？これは一旦情報をまとめてから考えることにする。
- なお、アウェイの場合はホームと異なり各チームのバナー掲出位置と応援場所はリンクしない。

●応援方針の周知について

- ホーム、アウェイに関わらずその日の応援の方針や意思の共有を試合前に集まって議論し、そこで決まったことをスタンド全体にも周知していくことにより、その日はどんな応援をするのか等をス

スタンドにいる方全員にも知ってもらおう。それによりその日の応援に対するモチベーションを上げてもらおう。イベントを行う時も同様に事前の周知をスタンド全体に行う。

●仮に移動した場合の大旗の位置について

- 仮に応援場所が移動することになった場合、大旗の位置はどうなるのか？
- 現在、大旗の配置等を管理されている方がいるので、移動した場合でもその方を中心に再度配置を確認していただくことになる。

●即興曲について

- 個人が企画されたサポーターの集いの会話の中で、即興曲を試合にも取り入れたいという案があった。どのような内容を考えているのか。例として昨季試合後に中村充孝選手に乾杯を歌ったが、みんなはその選曲をカッコいいと思って歌っていたのか？個人的にはあれはダサイと思っている。即興曲をやりたいからといってそのセンスで考えられるとどうかな、と思う。即興曲でも少しかっこいいのを考えて練習して歌えるレベルなら全然構わないけど、乾杯を歌ったレベルの即興曲ならかなり違和感がある。
- 乾杯を歌った時は特に告知をしていない(どこからの提案かは不明?)。
- 以前の話し合いだと、現在応援歌作成委員会があるから即興曲が作れない(歌えない)、というニュアンスで認識している。即興曲をやるのは全然構わないが、もう少し練習できるくらいのかっこいいレベルの即興曲を歌いたい。
- その場のみんなの思いを伝える等の意味でも即興曲を歌うこと自体は賛成。ただ歌にすると難しい。コールでもいいのではないかな。まずはコールから始めて熟成していけばいいのではないかな。
- 即興でコール(歌)をすること自体は賛成。どのようなコールがいいのか等はある程度事前に擦り合わせをしたほうがよい。どのように使うかはコールリーダーに委ねる。こんなコールがいい等のアイデアは随時募集する。

●提案

- 勝ったあとの「オーレオーレ」について。選手が近くにきて一緒にやっているのに、横移動するから選手のほうを見られない。選手を見ながら一緒に楽しみたい。「オーレオーレ」に替わる案とか何かありませんか？継続案件としてアイデアを随時募集する。